

モルゲンロート-5

第5号 平成 29 年(2017 年)4 月17日(月)

杉村ひろし後援会活動通信誌、原則春秋発行全戸配布
連絡先 浦富1690番地1 杉村宏 TEL 0857-72-0981

モルゲンロートは、登山用語で、朝日が高峰の頂きよりあたり始め、明るいオレンジ色に輝く様です。杉村宏が高校総体で早朝の南アルプス北岳の輝く姿を觀て感動し、明るい今後でありたいとの想いから誌名とし、後援会連絡所の看板はその朝焼けのイメージの色です。

目次 P1 H28.12月一般質問、P3 H29.3月一般質問
P5 決算(H27)予算(H29)審査質疑発言
P6 議会改革(H25)報告の概略と杉村議員の意見
P8 町民の声、「伺います」のお知らせ、編集後記

《平成28年12月20日 杉村宏議員一般質問》

1 (問)鳥獣被害対策実施隊の設置は

(答)設置に向け検討する

杉村 ツキノワグマからの人身被害防止対策は切実な問題だ。県内で本年人身被害4件、うち2件が町内だ。近年の人身被害や目撃情報、捕獲件数、そのうち錯誤捕獲や放獣した件数、有害捕獲や鳥獣被害防止特措法の許可により殺処分とされた件数はどうか。

産業建設課長 目撃件数は、26年度11件、27年度7件、28年度21件だ。捕獲頭数は26年度7件、27年度6件、28年度15件、そのうち2頭が有害捕獲。人身被害は2件。

杉村 熊の捕獲に4種類、狩猟、有害鳥獣、個体数調整、緊急時の警察判断対応がある。町は放置果樹や廃棄農作物、生ごみなどの誘因物を残さないなどの出会わない対策が主だが、現状の対策はどうか。

町長 人身被害の1件目は、自治会長に柿の実の収穫、餌になるものを置かないよう取組んだ。人身被害はあったが、熊が近くにいる状況をみなければ、猟友会や警察処理の段階に至らなかった。警察等はパトロールを夜間も行った。遅く帰られる方があれば、消防団の警戒を自治会に要請した。町対応に問題があったと考えていない。

産業建設課長 発生時、県と警察に連絡し、緊急放送を行った。現場確認し誘因物等確認し除去協議をした。有害捕獲許可を出し熊のわなを仕掛けた。警察と自治会等とも連携しパトロールを行っている。

杉村 扇ノ山山系を囲む各自治体との対策に違いがある。特に最も有効とされる箱わなと呼ばれている檻の設置数についてはどう違うのか。

産業建設課長 有害捕獲は人身被害等が発生しているとか集落の近くにいる場合に初めて町長が許可を出す。熊の有害許可を出したおりは18基。鳥取市11基、八頭町30基、若桜町4基、智頭町は0だ。

杉村 県境を挟んだ新温泉町、香美町はどうか。

産業建設課長 把握していない。

杉村 鳥獣被害防止特措法に鳥獣被害対策実施隊(以下「実施隊」)の設置、駆除経費の8割特別交付税措置がある。実施隊設置は全国で1,073。実施隊をどう考えるか。

産業建設課長 今後設置に向けて検討する。ツキノワグマはどこの実施隊も考慮していない。

杉村 鳥取市、智頭町は実施隊の対象獣だ。

産業建設課長 実施隊の主な仕事は、猪、鹿等を対象だ。

杉村 主にはそうだが、ツキノワグマが実施隊の対象鳥獣にないとの答弁だ。本当か。

町長 鳥取市などに聞いてみたい。

杉村 学習放獣で多くは離れていくが、連続追跡した16頭のうち2頭は人の生活圏に近いことが多く、人を忌避する行動が少なかった。月別事故件数は5月と10月がピークで、来春、冬眠、出産を終え出沒が懸念される。熊に県境も町境もない。扇ノ山山系を囲む各自治体との均一的な対策が重要だ。新温泉町、香美町、鳥取市、八頭町、若桜町、本町の1市5町が参加するコリドー21(因但県境自治体会議)がある。扇ノ山を囲む各自治体における均一的な対策を行うよう協議、検討されないか。

町長 銃猟や個体数把握も県に申し入れる。

2 (問)耐震シェルターへの補助は

(答)補助率も含め、前向きに検討する

杉村 来月で22年前になる阪神大震災の直接的な死亡者は5,500人で、原因は、建物や家具類の倒壊による圧迫死が88%、火災による焼死が10%だった。大きな被害を受けた建物の多くが旧耐震基準の昭和56年以前建築だ。居住用棟数とそのうち旧耐震はどの程度か。

総務課長 専用住宅戸数は5,656戸で、うち昭和56年以前は3,546戸62.6%だ。

杉村 県の2015年度の住宅耐震化率は約78%で、2020年度の目標は89%だ。本町の耐震化率、目標はどうか。

総務課長 21年に耐震改修促進計画を策定し、耐震化率36.2%、昭和56年6月1日以降の新耐震基準の住宅が36.2%。10年計画で耐震改修100棟、年10棟の目標。

杉村 県の半分弱の現状だ。耐震診断、改修設計、耐震改修に補助している。実績はどうか。

総務課長 28年までは、診断9件、設計9件、改修0件だ。

杉村 利用が進まない理由はどうか。

総務課長 個人負担が大きい。

杉村 地震のときは便所に入れとされる。四隅に柱があり丈夫である。26年度、27年度の決算審査で、家全体の耐震工事は難しくても耐震ベッドや耐震シェルターの意見を申し上げたが、町は危険性を啓発することで現在に至っている。30万円前後からの比較的費用が低廉で室内に頑丈空間を設置し、揺れたときの屋内の避難場所とする耐震シェルターや、65トンにも耐えられ安心して就寝できる耐震ベッドへの補助を検討しないか。

町長 前向きに検討する。補助率に差があり見直す。

3 (問)いわとび祭りを開催すべき

(答)観光協会、自治会に相談する

杉村 アニメファンの方は昨年より増加した。田後や浜浦富、網代など気負いなく気さくに声をかけていただいていることが大きな力だ。一方、ファン心理の琴線に触れる岩美高校のプール修繕作業や主要人物の誕生日とされる日にちなむ行事を行うことも大きい。いわとび祭りは本年開催されなかった。いわとび祭りを過去に開催した、また、本年開催できなかった経過はどうか。

商工観光課長 いわとびは、岩ガキ、トビウオの造語で、アニメにその町も登場する。漁獲時期で、人気キャラクターの誕生日が6月30日、26年は6月29日、27年6月28日から30日に開催した。浦富第1駐車場をメインとし民宿等でアゴのだんご汁等の無料提供、焼岩ガキ販売等行い、いわとび定食を楽しんでいただいた。

地域おこし協力隊員から引継ぎ町観光協会職員がアニメ関連事業を行うが、年度がわりで、同時に映画「ハイスピード」の上映会の話が持ち上がった。同画は、昨年公開され町内のさまざまな場所が描かれている。映画DVDが7月20日発売で、6月19日あたりまでに開催してほしいということであった。その後浜浦富から7月3日に地びき網の話があり、本年度は映画上映会とグルメ屋台として6月19日に中央公民館で開催し、225名の来客があり、商工会の岩ガキ等楽しんでいただいた。7月3日の地びき網等にも多く参加され楽しんでいただいた。

杉村 ファンはささやかでも、架空のいわとび高校と登場人物の誕生日にちなんだ行事を行ってくれたことを喜

んでいただいている。台湾など海外からのファンの来町もあり、ファンの方に喜んでいただける催しが開催できるのは大きく言えば世界中で本町のみだ。岩美町で行うからいわとび祭りは喜んでいただいている。来年は前向きに取り組んでいただきたい。

町長 観光協会だけでなく自治会等にも相談をかける。



(H29.1.3 おだやかな正月をむかえている田後港)

4 (問)ふるさと納税の現状と返礼サービス追加は

(答)町内産品はカタログ掲載済み、清掃の考えはない

杉村 ふるさと納税(寄附と税額控除)が20年に始まった。税額が寄附により減額となる。総務省は、2015年度、全国で寄附額が1,653億円、財源流出額が999億円差引き654億円。返礼費用は購入633億円、経費160億円の793億円だ。現状を町民と共有したい。①町へのふるさと納税額、②返礼費用、③町民が他の自治体への納税によって減額となった町税の額、④その減額に応じた交付税措置額、⑤差引き町が実質的に得させていただいた額は、それぞれ累計及び昨年度ではどうか。

企画財政課長 27年度までの累計(27年度)は①8,173万円(1,801万円)、②3,021万円(964万円)、③52万円(12万円)、④39万円(9万円)、⑤5,139万円(834万円)だ。

杉村 町外へ出られた方は土地や家屋、墓地等を残されている。家屋敷地の草取りや墓地清掃など、道の駅などの利用促進につながるサービスも返礼に加えないか。

町長 ふるさと納税は町産品をPRするいい機会だ。特産品は道の駅としてカタログ掲載している。空き家の清掃、墓地清掃は業者が見つからない。する考えはない。

《平成29年3月13日 杉村宏議員一般質問》

1 (問)大雪対策時に自主防災組織は重要

(答)町防災計画の見直しも必要

杉村 33年ぶりの大雪だ。大雪も災害で、防災組織が重要だ。自主防災組織の必要性をどう感じていただくか。

町長 防災組織が豪雪についても必要な取り組みと同感する。町防災計画に雪害は触れていない。見直すことも必要だが、小型除雪機が20台稼働している。

杉村 各種企業で敷地内の除雪は企業活動のため最優先で行われた。企業の除雪にめどがつけば、その後は地域の除雪に可能な範囲で協力いただければありがたい。

町長 余力のある企業はない。協定は困難だ。

杉村 家庭用より大きいものを持っておられる企業はある。町はないとの把握だが、企業が前向きなら検討するか。

町長 町の承知以外にあれば、協力いただくようにされればええ。町内会と企業と自主的にやっていたらいい。

杉村 大雪で宿泊予定者の移動などを心配され、高価でも蟹などの食材の廃棄を覚悟し、宿泊予約をお断りなされた観光業者の声を聞いた。町内キャンセルは。

商工観光課長 宿泊・日帰りで772人のキャンセルだ。

杉村 蟹のシーズンで週末などの書き入れどきだった。大雪の記憶が新しいときこそ、懇親会は町内実施が、町の役場・議会だ。キャンセルを施設側から申し出なければならなかった方の心情を思うときに、ぜひ町内開催への配慮を町にはお願いする。私もする。

町長 (3月議会最終日(23日)の懇親会は)執行部で参加するが、議会(議会運営委員会:芝岡みどり委員長)で決めたこと。

(杉村宏議員は、26年当選当初から町や議会の組織的懇親会で、町内開催を希望していたものの、町職員共済施設のホープスターが鳥取市内にあり、町外開催も許容してきたが、同施設廃止や大雪を契機に、町内開催以外は参加しないと議長に伝えた。)



(H29.2.12 小田地区小田にて、小田川への排雪作業)

2 (問)沖合底びき網漁船の代船更新と町独自取組みを (答)これ以上のことには踏み出さない

杉村 県版リース事業が29年に創設だ。ズワイガニ漁獲量日本一を標榜する町として県頼みのようで残念だ。町負担も大きい。町独自取組みが見当たらない。沖合底びき網漁船の代船更新の見込みはどうか。

町長 町漁業や国の水産施策は広域浜プランだ。県漁協も1つの漁協の中で田後漁協が自立で残っている。町が県や国と力を合わせ水産振興をやってきたことを否定されては、立つ瀬がない。代船建造は、7隻更新の計画で、現制度では1年1隻でも難しい。知事も国も水難事故の影響もあり格別な計らいで2隻できることになった。漁獲の日本一だが、町振興は前浜に揚げて水産加工も含め、網代新港は鳥取県東部の中核拠点で莫大な予算を投入して港を開いている。漁協と議論し、水産に力を入れてきた。否定される話は、わしゃよう受け入れん。

杉村 12隻が船齢になっている。7隻の希望がある。今年度は2隻。あとの5隻はどうか。ズワイガニ漁獲量は一貫して日本一を維持している。町の港に揚げていただきたいが、事業者の判断もある。それも大事なことだ。国や県の制度に加え町独自に考えてほしい。ズワイガニ漁獲量の日本一の実績は今後も積み上げられるか。

町長 水揚げ量日本一の実績は、後からついてくる。こだわって施策をする捉えはしていただかなくて結構。

杉村 大きな金額は県も町と同じように負担する制度だ。県全体の中で東部に大きく、岩美町と賀露。重点的に県税を入れる。町独自対策が見えない。緊急時の人命安全対策について、町内船は対策がしっかりしている、万が一のときも脱出できる、そういう取組みや他者からのイメージを持っていただかないと就業者確保に苦慮している漁業の展望は開きにくい。膨張式救命いかだ(ライフラクト)が漁船に装備されていることが一般の方々にどれだけ浸透しているか。その点検が法定実施されている。安全対策に漁業者も町も取組んでいることをアピールしたい。町内で合同で行うことを、できれば将来漁業者になっていただきたい方にライフラクトの乗船体験などを含めた公開点検を漁業者に働きかけないか。

町長 乗組員の確保、後継者の確保が意味がないことだとは思っていない。これまでもやってきている。これ以上町が踏出す考えはない。事故直後に議論することを遠慮したい。この場でこれ以上論議する考えはない。

杉村 ライフラクトは、点検を行う船のうちで一つ膨らま

せ、あとはメーカーが持帰り点検する。今年は網代で行われる。公開点検のお願いはないということか。

町長 現実に行われる訓練や公開テストは当然される。

杉村 法定点検は、公開でも何でもなし。安全施設の法定点検をちゃんとやっている。町民全体でもわかるようにとお願いしてはどうですかと申し上げている。

産業建設課長 救命いかだの法定点検は5年で2回が義務。漁協等より放送の依頼があれば町も行う。

杉村 町から町民に(漁船の)安全対策を周知いただきたいが、これ以上はしないということでおしまいにする。ただ、田後は昭和52年の大火、300年前124人の漁師がたった1日でお亡くなりになる海難事故があった。厳しい現実を受けとめてきた田後集落の皆様だ。大福丸に乗組みされた方々も、命を大事にする思いは一緒だ。人命第一の漁業者であり、町であることを、仮にパフォーマンスと批判をいただいても何らかのことは行いたい。

3(問) 町道前田線の冠水対策で県道改良の実施見込みは (答) 測量設計が発注された

杉村 町道前田線の大清水付近の冠水理由を、町は県道下の水路が狭いとした。県道改良約束の経過はどうか。

産業建設課長 県は先月に測量設計業務を発注

杉村 これは設計で工期は11月、工事は未定だ。町長の今の任期末には工事完了しない。町工事の冠水予防は。

産業建設課長 道路の高さは現道より一番高い部分で約40cm上がる。川の幅は1mから1.5mにする。

杉村 西側部分が持越した。国などへの働きかけを願う。

4(問) 地籍調査結果の積極的な広報にを (答) 必要ない

杉村 地籍調査の進捗率は20%弱だ。しかし、宅地では相当に実施済みと思う。移住定住の促進に効果があると昨年視察した和歌山の町は説明し、国土交通省がHPでその町を紹介した。浦富IC周辺やそれ以外の各地でも宅地の開発及び住宅新築が目立っている。28年度水道事業会計3月補正で、水道利用加入金が39件から66件と大幅な伸びと説明された。地目が宅地の場合は移住定住の受け皿となる。宅地の地籍調査済みの面積や割合はどの程度か。

税務課長 資料として持っていない。

杉村 20%より宅地は大きな率ではないかとの質問だが、持っていないということ(事前の通告だが答えがない)。

町内の4IC、3鉄道駅周辺はいずれも調査終了だ。移住定住のため土地を考えていただける方は、調査が済

み、境界が確定し、形状、面積などが明確であれば検討がしやすい。定住に資するよう、調査済み部分の積極的な広報を行わないか。

町長 交通の便がよくなり、駅前周辺とかIC周辺に宅地を求められるのは町の山間部や漁村から出てこられることが多い。地籍調査して公表をどこまでするかは、賛否両論。必要ない。むしろ山間や漁村に来てくれる人たちを求める。山間部や漁村から町内移動を助けるだけだ。

杉村 水道加入等はどういった方か。町内移動だけなのか、北但馬地域からの移住の方もいる。地籍調査が終わってれば土地を求めやすい。そのことは移住定住に資する。20%ではない、宅地ではもっと多い。それが移住定住を岩美町に考えようとするときに助けになる。

5(問) 岩美病院の負担を北但馬自治体と認識共有が必要 (答) 実態は十分承知している

杉村 町は、県に対する医師派遣の要望で、岩美病院の医師の方々の負担は大きく、限界に近い状態で診療に当たっていると表現した。医師負担はどの程度大きいのか。

病院事業管理者 県下220名、東部医療圏104名医師不足。宿日直を救急告示病院として岩美病院の医師9名でやっている。土日は入院患者の主治医として出る。1年間休みなしだ。北但馬から入院は1割、外来は2割。救急患者は年間3,500人、1日10人近くで町内が主だが、北但馬からもある。医師は4、5名不足と思う。大変厳しい。

杉村 北但馬地域の方々の需要を鳥取県東部医療圏、東の玄関である岩美病院が相当の負担を担っている認識なら、北但馬地域自治体とも認識の共有を図りたい。岩美病院の医療を継続させるために大事だ。町長、どうか。

病院事業管理者 新温泉町の浜坂病院も承知している。

杉村 病院関係者は連携しておられる。質問しているのは北但馬地域自治体との認識共有だ。町長どうか。

町長 よその病院と競争しながら医者を確保しようという姿勢で臨んどるから書いとる。よその病院よりもうちのほうが困りますということをアピールしていく。北但馬地域と情報共有はしっかりしとる。

杉村 病院は大変な思いで運営し、関係自治体はサポートしている。要望書で「北但馬地域の夜間緊急体制が十分機能しておらず、岩美病院の医師の負担が大きく限界に近い状態で診療に当たっている」とある。浜坂病院なら浜坂病院の所在する自治体の首長は認識しているか。

町長 実態は十分承知しておる。兵庫県但馬地域の病院P4も岩美病院に越境してお世話になつとる。

平成 27 年度決算に対する杉村宏議員の質疑等

平成28年9月議会(一部のみ、一般会計のみ記載)

問 破砕型生ごみ処理機のママサポートが火災の原因と指摘される方もある。不信があれば利用拡大につながらない。田後行政懇談会でも質問があった。どう説明できる現状か

答 昨年11月の火災以来、経済産業省の判断なし

問 ㈱いわみ道の駅に支出した(両漁協買参権取得のための)400万円を、同社は負債、町は権利とした。対応していない。町は債権とすべきだ。①監査人への説明不足はないか、②町監査委員の意見はないか、③町が取得した権利はなにか

答 ①理解を頂いている、②指摘を受けていない、

③(回答無)、あなたの主張が正当だが町の判断再度の問 道の駅の債務と町の権利は対応していない。決算が認定されれば、岩美町において会計の基本的なところを理解できる人がいないことの証明になってしまう(この発言について本誌4号のP4参照)

下線部分については、議長が不穏当発言であると判断し、議事録は棒線で読めない表示(H28.9.15のP131)となっています。(不穏当判断を議長は議場で意思表示されなかったため、9月議会終了後、議会事務局より聞き取り)

不穏当発言とは、一般的には無礼の言葉、他人の私生活にわたる発言、誤解した発言、感情的な発言等一切の不適切な発言のこと。議会の会議中に自治法又は会議規則に違反し、その他議場の秩序を乱す議員があるときは、議長はこれを制止し、又は発言を取り消させることができる。この場合の議長の権限は、さきの発言を取り消すことを命ずることであって、議長が自ら取り消すのではないから、当該議員が議長命令に従わなければ、発言自体は取り消されない。しかしながら、当該議員は懲罰の対象となり得る。標準会議規則においては、議長が取消しを命じた発言は配布用の会議録には掲載されない。(地方議会運営辞典のP538、539の一部)

杉村宏議員発言の下線部分の、どこが法や規則に違反したり、議場の秩序を乱したのでしょうか。町を質す立場の議員として、どこに無礼の言葉、他人の私生活、誤解、感情的な発言があったのでしょうか。発言者本人が取消し発言を行わないまま、議長判断で棒線表示とした事例は、30年以上経験の大先輩議員や、議会関係者の記憶にないようです。(関連) 岩美町監査委員2名の内1名が任期途中で退任され、新たな方の選任がH29.3月議会で同意されました。

平成 29 年度予算に対する杉村宏議員の質疑等

平成29年3月議会(一部のみ)

(一般会計)

問 ①法人税割、②固定資産税、③たばこ税の増額見込みと④入湯税は前年並み、個人消費見込みは

答 ①金融機関の増、②大手企業の償却資産と新築家屋の増、③町内コンビニエンスストアでの売上増、④鳥取県中部地震キャンセルの影響

問 交通安全対策で、町内交通環境が変化している。危険個所の把握や、街頭指導個所の変更は

答 指導個所の変更は今後検討したい。交通安全指導員以外の補償も検討中

問 家庭用破砕型生ごみ処理機利用促進事業について、6カ月前の決算審査以降の進展は

答 一昨年11月の火災以来、専門家会議は開かれたが、経済産業省の第三者委員会が未開催

問 木質バイオマス供給施設等整備支援(40,575千円、財源:県支出金)事業の主体・内容、町民利用は

答 事業主体は吾妻商事、木材をチップ化し市内発電所に出荷。町民の利用はない。民民の取引

問 用地取得で評価地目を田から宅地に変更であったが、相当以前から田ではない。固定資産税を遡及課税すべき、農地転用の許可手続きは

答 遡及課税しない。農地転用も求めない

問 震災に強いまちづくり促進事業費補助金(2,260千円)の事業内容は

答 耐震診断5件、設計5件、改修1件の見込み、補助率を23%から2/3に引き上げる。耐震シェルターも県制度と同じにしたいが補正対応

問 給与費明細書では職員1名増だ、内訳は

答 一般行政職は退職者が4名で、その内1名を再任用とし、4名新規採用見込

(集落排水処理事業特別会計)

問 集落排水基金の数年後底つき見込みと、対策として公共下水道への接続検討の説明があったが、

①接続による集排の経費削減見込額と、②それによる基金底つき先延ばしはどの程度見込めるか

答 具体的な数値は持ってない。10年以内には底つきになると想定している

(公共下水道事業特別会計)

問 集排からの接続の公共下水道会計への影響は

P5 答(産業福祉分科会委員長) 議論していない

議会改革報告書の概略と杉村宏議員の意見

H25. 6. 11付けの岩美町議会改革調査特別委員会の報告書で、調査の結果及び実施状況は以下のとおりです。(番号)の項目順に(報)として概略を掲載しています。

(当時の委員で現議員は、柳正敏(長)、芝岡みどり(副)、田中伸吾、松井俊明、澤治樹、日出嶋香代子、田中克美、船木祥一。敬称略)

なお、H26. 7月の改選後に議論を委ねた事項が多くあり、H29. 3. 21現在で、改選後の議論が始まっていないことから、杉村宏議員から検討を行うべきとする発言を同日の全員協議会で行いましたが、今後の協議となりました。

(杉)は杉村宏議員の意見です。皆様からのご意見がいただければ、修正検討や今後の発言に活かします。

(1) 議会事務局の充実・強化

(報) H23年度から専任職員1名配置

(2) 議会中継

(報) H22年9月より本会議の一般質問を録画放映

H23年3月より町長の施政方針録画放映

H23年8月より全員協議会の協議部分を録画放映

(杉) 全員協議会、本会議の全体を、休憩中も含めて、生中継及び録画放送(ネット放映も検討)の実施

参考事例:H29. 2. 14の総務常任委員会の審査3件・報告17件、産業福祉常任委員会の審査1件・報告14件を受け、両常任委員会委員長を中心に検討されたH29. 2. 23の全員協議会の協議は1件で、報告事項は16件であった。

(3) 広報公聴

(報) 議会だよりの研修の積極参加、各議員賛否掲載

(杉) 議員各自の自主的な広報を町民は求めておられる。また、現在の議会だよりは、議員が中心となって編集しているが、第三者的な目線での編集が理想的。当面、町民の方に編集委員に加わっていただきたい。

(4) 規律

(報) 葬儀等の会議欠席は、議員各自の判断

(5) 一般質問

(報) 議員各自が更に努力することを確認した。

(杉) 岩美町議会の一般質問の実施状況は、H27年で県内町村平均一定例会あたり7.6人のところ5.3人と下回っており、15町村中下から3番目。

一般質問は議員の議員力を向上させ、個々の議員力が向上すれば、その議会全体の議会力が向上すると研修であった。その意味で、一般質問を行わなかっ

た場合は議会力の向上がその分図れなかったとして、何らかの対策を試行的にでも実施したい。

参考:一般質問実施回数順(同回数では質問時間順)

(H26. 9~H29. 3、定例会11回中、敬称略)

●田中克美、11回(329分)、●杉村宏、11回(325分)、●芝岡みどり、11回(192分)、●日出嶋香代子、7回(146分)、●川口耕司、4回(87分)、●宮本純一、3回(77分)、●田中伸吾、3回(30分)、●澤治樹、2回(30分)、●寺垣智章、2回(21分)、●柳正敏、1回(24分)、●松井俊明、1回(22分)、●船木祥一、0回(0分)、合計56回、1283分(質問時間分数は公式なものではありません)。

これは定例会11回×議員数12名の延べ132回の機会があったため、町民にとって、76回(58%)の機会損失、質問時間(一人1回の制限時間は30分間)なら2677分(68%)の時間損失といえます。

(6) 調査・研究の推進

(報) 研修会積極的参加

(杉) 議員個々の自主的な研鑽が重要

(7) 全員協議会

(報) H23. 6月より「正式な協議の場」とした。

(杉) 現在2つある(8)の常任委員会を廃止し、全員協議会で複数日協議

(8) 常任委員会の設置数及び委員の重複

(報) 改選(H26. 7月)後の検討

(杉) 委員重複を検討するよりも、全員で全部の事項を協議するとして、(7)の(杉)により、委員会廃止

(9) 議会運営

(報) 議会運営委員会等で協議

(杉) 議会運営委員会を廃止し、全員協議会で協議

(10) 議会基本条例

(報) 改選(H26. 7月)後の検討

(杉) 町民に良さが実感できる条例となるならば検討

(11) 議員定数

(報) 現状定数12名を維持

(杉) 定数削減。段階的に、12名から10名に、その次、8名に削減(一気に8名に削減も検討)

これは、①町民の皆様は現定数12名の存在意義を実感しておられない。②岩美町地域創生総合戦略で2040年9千人、2060年7,500人の人口目標としているが、町民千人に一人の町議会議員として8名。(国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2040年:7,666人、2060年:5,046人)

(12) 議員報酬

(報) 多様な人材確保のため増額が望ましいが、社会情勢から増額は困難で据置。併せて、政務活動費について積極的検討を行う。改選(H26.7月)後の検討

(杉) (11) 定数削減と同時進行で町課長程度を上限としての増額。これは、定数削減と同時進行でなければ、町民の皆様のご理解はいただけないと考えていますが、民間や行政で主導的立場に居られる程度の有為な方が選挙の審判を受けていただくにあたり、町課長程度の収入は妥当だと考えている。同時に、報酬額が各議員一律では、働きに応じていないと、町民の皆さんからの強いご指摘を受けているため、何らかの対策で減額する仕組みを前提としたい。政務活動費は、全面公開を前提に前払い支給。

参考:地方公務員(岩美町及び近隣の議員及び)

特別職・一般職の(月額)想定年収(年収順)

役職(月額) 想定年収(月額、年収とも万円未満切り捨て)

県知事(114万円) 1817万円、市長(102万円) 1714万円、
県議会議長(95万円) 1512万円、県副知事(90万円) 1431万円、
副市長(85万円) 1420万円、町長(81万円) 1296万円、
県議会議員(77万円) 1230万円(登庁日年約75日、議員定数35名)、
県部長(50万円) 1048万円(行1、9-17)、副町長(64万円) 1023万円、
市議会議長(58万円) 976万円、市部長(44万円) 858万円(行1、8-21)、
市議会議員(47万円) 793万円(登庁日年約100日、議員定数32名、
市部長並)、市次長・支所長(41万円) 783万円(行1、7-27)、
町課長(39万円) 734万円(行1、6-43)、町課長・参事(37万円) 682万円(行1、5-47)、
町課長補佐・主幹(35万円) 614万円(行1、4-47)、町係長・主任(31万円) 553万円(行1、3-57)、
町議会議長(33万円) 529万円、町主事(27万円) 477万円(行1、2-63)、
町議会議員(22万円) 360万円(登庁日年約50日、議員定数12名)、
町主事(21万円) 359万円(行1、1-47)、町主事(初任給) 14万円) 249万円(行1、1-5)

標記:県は鳥取県、市は鳥取市、町は岩美町。三者確認済注:特別職、一般職はこの他に退職手当、共済(健康保険・年金)の公費負担あり。議員はいずれもなし。

前提等:H29.4.1から1年間。年収は、報酬・給料に特別職は期末手当、一般職は期末勤勉手当と管理職手当又は時間外勤務手当の合計。一般職の号は級の間(例:行1、9-17は行政職給料表9級17号)。時間外は年間100時間。一般職の通常昇給や、手当

はこの他に扶養・住居手当などがあり、期末手当等には扶養手当額などが加味されるが、いずれも考慮外とした。

参考:杉村宏議員の考える報酬・給与の決定の仕組み

第1段階 妥当と考えられるレベルの提示

例:報酬審議会の意見、人事院勧告

第2段階 提示を実施するかどうかの政治判断

例:法律や条例の改正時の議決、首長提案時に変更

第2段階で第1段階の提示内容を政治判断で変更(実施時期の変更、凍結・根切)をしたことはよくありました。

(議会改革報告内容以外の杉村宏議員の意見)

(杉) 費用弁償の即時廃止

県内15町村の内、本会議などの出席に日当を支給しているのは3町(岩美、大山、伯耆)で、大山町・伯耆町は半日当(1300円)で交通費なしだが、岩美町は1日日当(2600円)に交通費(バス代)を加えて支給。

岩美町の支給額の概算額(H27年度) 168万円

内訳:日当部分130万円、バス代部分38万円

参考:杉村宏議員の1年間の動き(概略)

- ① 町議会会議等出席 約50日(午前10時開会が通例)
- ② 自治会総会等、卒業・入学式、発表会等学校行事、マラソン大会、敬老会などの参加 約50日(途中退席しないよう心掛けています。)
- ③ 意見交換、自己研鑽 約100日
町民の方との意見交換、町内各地区行政懇談会参加、研修参加、国県町からの情報取得、新聞切り抜き、一般質問の論理構築など。ただし、①②④は丸1日かかることばかりではないので③と重複しています。
- ④ 広報活動(活動通信誌の作成・配布) 約50日
年間議員活動延べ日数:約250日

議会改革として、杉村宏議員の考えに沿った議会改革を合意のできた事項から速やかに行うことができれば、岩美町議会は議会改革の先進地となり、全国からの議会視察需要が創造できると感じております。

なお、町議会の公開度を上げようとする方は、主張が異なる場合でも杉村宏議員は応援します。来年7月の町議会議員選挙に期待します。

「町民の声」 第4号(H28.11.1発行)配布時など

(全部掲載≒前回配布時に比べて多くの声を頂きましたので、同様な内容はなるべくまとめました。また、特定の選挙への立候補要請などの意見も多く頂きましたが割愛しています。)

- ◎あんだの言うとおりで。なんでTV放送しないのか
- ◎モルゲンロートのようなものがないと一般の町民はわからない。ありがたい。○は子供のようなことを言っている
- ◎文字数が多いが、わかりやすい ◎熱心だ
- ◎道の駅に野菜がない。ハウスで生産調整して乗り越えるしかないが、責任をもって対応している調整者の姿が見えない。税を出さなくてはならない状況になるようで多くの人イライラしている(町補助等負担はH29年度で、1477万円、内訳:駅長人件費と公的部分電気代785万円、公衆トイレ清掃代など294万円、地域おこし協力隊2名(H28~30の3年間)がPRするための人件費と事業費398万円。杉村宏議員は、施設整備予算がH26.9月に議決され現在、道の駅が存在し、町が推進しているところから、当面の支出は致し方ないとして、29年度当初予算に賛成しています。)
- ◎ご苦労さんなこって
- ◎自転車や徒歩、自分の足で配っていることがとてもいい
- ◎人に被害が出る前にクマ対策を ◎町内全部歩くなんて、感心
- ◎私たちのかわりに想いを発言してくれてうれしい。町議会の流れも変わってくるので我慢してください
- ◎クマが今朝も出たらしい。身の危険を感じる
- ◎一般質問よかったです。ここにもいるけどいけません。頑張ってください
- ◎クマが夜に出て目撃した。恐くて柿の木を2本切り倒した
- ◎TVでいつも観ています。頑張っているのがよくわかります
- ◎議会だよりで町長の発言妨害が載っていない。質問(H28.9.13)しているのに掲載しない議会だより(H28.11.1)の編集が変だ
- ◎債権債務の主張はよくわかる。債務に権利が対応しないのは当たり前前の話だ。議会がした(平成27年度の)決算認定はおかしい
- ◎議員らしく活動しているのは二人だけ。あとは税金泥棒だ
- ◎(通信誌を)家に入れてくれてありがとう
- ◎自費で作成・配布しているとは知らなかった。政治活動費を支給すべきだ。支給していないなら活動していない議員の報酬額のほうが相対的に高いこととなっている
- ◎駅前交差点にある看板の後ろに廃棄物が永いこと積まれていた。嫌がらせだ。看板もねじられて固定していた針金が切られていた。注目度があがるにつれ、目に見えない圧力もあると思う
- ◎本当に全町一人で配っているのか。信じられない。本当に本当か
- ◎町長の発言妨害は本当にあった話か。岩美町議会ではなんで問題にしないのか。議会が問題にしないことが問題だ
- ◎期待しています。よく頑張っている。応援している。

「杉村ひろしが伺います」

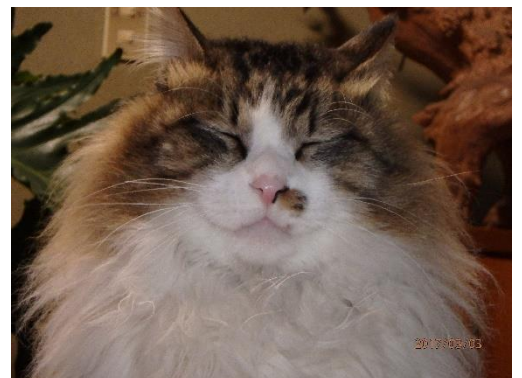
複数人の集いからお呼び頂ければ、行かせていただきます。意見交換できればありがたいです。選挙権の有無によらず、中高生の集いでも声をかけていただければと思っています。連絡先は1面右肩に記載しています。

(0857局内の発信をお願いします)

編集後記 杉村宏議員が、町内の(原則)全所帯に直接この通信誌をお届けしているのは、町民の皆様と同じ目線でありたいとする姿勢の表れと受け止めていただければと思っています。年2回ほどとはいえ、本人だけで直接お届けするには日数が必要となりますが、お届けしているときに出会うことができればどなたとも、気さくにお話させていただいているようです。

勿論、配布時以外でもお聞きしているようですが、この直接配布をしようとすることに意味があり、できないのであれば、よほどのことが無い限り、今の立場を去るべきだと考えているようです。地方自治は、皆様の意見をよくお聞きすることが、まず始まりで、歩けなければ、歩こうとする姿勢がなければ、同じ目線に立つ自信がなくなってしまうと言っています。お聞きしたうえで、自分なりの信念や知識などにより自分の考えをまとめ主張しているようです。

前回の昨年11月は、話し掛けていただけの方の数が増えて、配布期間が伸びたようですが、それこそ杉村宏議員の望んでいることで、ありがたいことと嬉しそうにしていました。配布の遅れは、申し訳ありませんがご容赦願います。(=^・^=) 🐾



(H29.3.3 編集長に近い🐾)